

モルモン教徒の恋人をお持ちのあなたへ

Copyright ©2009Mormon Outreach Ministries, Sydney

あなたはモルモン教会員の恋人から、バプテズマを受けてモルモン教会（正式名：末日聖徒イエス・キリスト教会）に入会するように、プレッシャーがかかっていますか？ 多くのモルモン教徒は「求道者」（宣教師にレッスンを受けている人）に「バプテズマを受けた時すべてが啓示されます」などと言います。このような約束にごまかされないで、イエスの教えにしがみつきたいです。「真理はあなたがたを自由にする」からです（ヨハネ 8:32）。真実から逃れることは、永遠を含める深刻な結果をもたらすことになります。エンダウメントといった神殿活動¹に参加したり、モルモン教会で神殿結婚するためには、神殿にふさわしいと認められて、神殿許可証を受けるまで、バプテズマを受けてから、少なくとも1年待たなければなりません。モルモン教会に入る決心をする前に、以下の点を十分考慮すべきでしょう。：（1）モルモン教徒にとって神殿結婚が大事な理由。（2）聖書とモルモン教理の主な相違点。（3）モルモン教会員になった場合、期待されること。（4）モルモン教会脱会の困難なこと。

（1）モルモン教徒にとって神殿結婚が大事な理由

モルモン教会は、モルモン神殿で結び固められた神殿結婚は永遠に続くが、その他の結婚は（モルモン教会の集会所で行われた結婚式でも）この世限り（死が分かたずまで）と教えています²。モルモン教理では、人が「昇栄」する（神々となる）には神殿結婚（「永遠の結婚」）が条件ということです³。神々になるという教えは、多くの非教会員を不安にさせるので、モルモン教会はこの教えを控えめに言っていますが、神々になることはモルモン教徒の究極の目標です⁴。モルモン教理では「昇栄」「永遠の命を受け継ぐ」「永遠の家族となる」といった表現はすべて、「神々になる」という意味です（詳しい情報は、MOM ウェブサイトの「『永遠の家族』は本当に可能か？」を参照）。

これに反して、聖書は、天国には結婚は無い、と教えています（マタイ 22:30）。イエスはサドカイ人に、天国には結婚はなく、わたしたちは御使いのようであると述べています。私たちは（現世では）家族で住んでいるわけですが、御使いは家族で住んではいません、と明言しています。

（2）聖書とモルモン教理の主な相違点

モルモン教会も、正統キリスト教会と同じ神学用語を用いますが⁵、聖書が意味する本来の意味とは全くかけ離れています。以下の例を参照してください。

① モルモン教会の「天の御父」は、聖書の教える「天の御父」と同一ではありません。モルモン教会でいう「天の御父」は、かつては人間であったが、進歩して、多数の神のうちのひとりとなったとのことです⁶。また「骨肉の体」を持っているそうです⁷。聖書は、神は「とこしえからとこしえまで神」（詩篇 90:2）であり、神はただおひとり（申命記 6:4）と教えています。神御自身が次のように述べています。「前に造られた神はなく、わたしより後にもない」（イザヤ書 43:10、44:6）また、神は、霊であって、「目に見えざる唯一の神」と述べています（ヨハネ 4:24、テモテ第一 1:17）。

② モルモン教会の「イエス・キリスト」は、聖書の教える「イエス・キリスト」と同一ではありません。モルモン教会の言うイエス・キリストは、ある時点までは、イエスの霊は存在してなかったそうですが⁸、イエスは、神の長子であり、ルシファー（サタン）の兄弟とのことです⁹。聖書は、イエス・キリストは初めもなく終わりもない、永遠に神として存在している、と教えています（ミカ 5:2、ヨハネ 1:1-3、ヨハネ 8:58、黙示録 22:13）。

モルモン教会はまた、忠実な信徒は、「天の御父とイエス・キリストが備えておられるあらゆるもの、すなわちすべての力と栄光、主権、知識を得る」と教えています¹⁰。「天の御父と同じようになる」と言いますが、この表現は、神と似た者になるだけではなく、神になることなのです。

③ モルモン教会の「永遠のいのち」は聖書の教える「永遠のいのち」と同一ではありません。モルモン教理によると、人は天国に行くことができますが、永遠のいのちを必ずしも持つわけではありません。モルモン教会の言う「永遠のいのち」は「昇栄」することと同義語で、永遠にわたって神として存在し、永遠に霊の子どもをもうける力をいいます¹¹。そのためには、神殿でエンダウメントを受け、この世から永遠にわたる結婚などをしなければなりません。聖書では、「永遠のいのち」は真のクリスチャンのすべてに約束されていて、天国にいる者はだれもが、永遠のいのち

ちを持ちます。しかし、天国では神々になるとは、決して約束されてはいません。ヨハネは次のように述べています。「御子を持つ者はいのちをもち、神の御子を持たない者は、いのちを持っていない。これらのことをあなた方に書き送ったのは、神の子の御名を信じるあなたに、永遠のいのちを持っていることを、悟らせるためである」（ヨハネ第一の手紙 5:12,13、ヨハネの福音書 5:24 参照） 永遠のいのちは、神からの賜物で、自分の努力で得るものではありません（エペソ 2:8-10）。

(3) モルモン教会員になると期待されること

パプテズマを受けただけでは不十分で、あなたは、絶えず「ふさわしさ」を立証しなければなりません。モルモン教理では、すべての神の約束を享受するためには、人の従順さが条件となります。永遠の特別な祝福と、一時限りの祝福には、「もし…なら」という言葉が付着します。例えば、「祝福師の祝福」は、祝福師によって与えられる一度きりの祝福で、イスラエルの家における血統の宣言と、その人の地上での自身の召しをある程度知らされるそうですが、「ふさわしい」との条件付きです¹²。常時ふさわしさを証明することが要求されると、あなたは疲れてきて恐れがあります¹³。すべての面においてふさわしさを証明できないとすると、配偶者とその家族の目には、あなたは失敗者でしょう。配偶者は昇栄を得ることができないのでいらだつことでしょう。もし、あなたがモルモン教会に確信を抱いていないのなら、どのようにして、ふさわしさを証明するのですか？

神殿参加にふさわしいと認められるには、「智恵の言葉」（ぶどう酒や強い飲み物、タバコ、熱い飲み物は禁止¹⁴）を守り、什分の一献金を守り（以下参照）、モルモン指導者を支持しなければなりません。「奉献の律法」は信者にすべての時間、賜物、財産を教会に捧げることが要求されます¹⁵。

(4) モルモン教会脱会するとき経験する恐怖

仮に配偶者がモルモン教会を脱会するとなると、家族は教会に戻るように説き伏せることでしょう。あなたの配偶者はモルモン教会員の家族から疎外されて、あなたの伴侶の証を破壊したとあなたは責められるでしょう。家族にとってあなたはサタンの器となったのです。モルモン教会脱会を考慮するとき、多くの教会員は根深い恐怖を経験するようです。家族や友人を失う恐怖、「祝福師の祝福」を失う恐怖、背教者となり、「外の暗闇」へ追い出される恐怖などです¹⁶。

最後に、『モルモン書』や、モルモン教会について祈り、暖かい気持ちを感じて、『モルモン書』や、モルモン教会が真実と確信されたのでしたら、われわれのウェブサイトの記事を参考してください¹⁷。

結論 パプテズマを受けてモルモン教会員になる決心をする前に、教会についての真実を知り、イエスの教えにしがみつ়必要があります。イエスは私たちを自由にさせる真理です（ヨハネ 8:32）感情が絡んでいると、真実に直面することは難しいのですが、イエスの次の約束にしがみつ়べきです。「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたは、本当にわたしの弟子なのである。また真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」モルモン教は偽キリスト教と認識したのち、モルモン信者の恋人との関係を後戻りしたクリスチャンもいます。しかし、モルモン教会への疑惑を持ちながらも、モルモン信者の恋人と結婚するため、モルモン教会へ入会した人もいます。モルモン教会の御父とイエスを信頼しているのなら、全知・全能・遍在される神と個人的な関係を持つことはできないことを考慮すべきです。しかし、結局は、新約聖書で啓示されたイエスカ、モルモン教の恋人のいずれを選ぶこととなります。あなたにとって、どちらのほうの方がより大事なのでしょう？

- 1 「資格のある教会員は、神殿の儀式を通して力の賜物を授かることができる」（『聖句ガイド』—日本語版のモルモン正典である『モルモン書』『教義と聖約』『高価な真珠』『聖句ガイド』の合本、末日聖徒イエス・キリスト教会、1995年、58頁）（注：モルモン正典は『モルモン書』『教義と聖約』『高価な真珠』と『聖書』）。
- 2 『福音の原則』（2003）240頁、同書47章：昇栄 - 『福音の原則』はモルモン教会公式学習テキスト。
- 3 同書、47章、同書、240、241頁
- 4 『教義と聖約』132:19、20—モルモン正典の一つ—は忠実な末日聖徒の最終の運命を教えている。
- 5 MOM ウェブサイトの“Terminological Differences between Mormonism and the Bible”参照。モルモン教徒の多くは嘘をついているわけではなく、聖書が「福音」「めぐみ」「救い」をどのように定義しているか気が知らない。
- 6 『福音の原則』300頁（『教義と聖約』121:32、132:18-20,21、『アブラハム書』4:3（『アブラハム書』は『高価な真珠』の一部）
- 7 『教義と聖約』130:22
- 8 『福音の原則』11頁
- 9 同書、17頁、『モーセ書』5:13—『モーセ書』は『高価な真珠』の一部
- 10 300頁

- 11 『教義と聖約』 131:1-4, 132:19-25, 30, 55
- 12 Bruce R. McConkie, *Mormon Doctrine*, p.558—モルモン教会の使徒ブルース・R・マッコンキーが編纂した非公式モルモン教義の辞典。
- 13 モルモン教会員は自分の弱さや、否定的な感情を他の人には言わないようだ。「完全に到達する」激励のことばや、断食証会での証 —多くの人は、モルモン教の原則に従ったことで享受した祝福を証しする—は、ストレスのある人には少しも助けにならない。
- 14 公式には「熱い飲み物」は、お茶とコーヒーと解釈されている(『教義と聖約』 89 参照)。
- 15 『教義と聖約』 82:19; 64:34; 88:67-68; 98:12-14 参照。
モルモン教会を脱会したクリスチャンのジョン・ファーカスは「奉献の律法」について次のように述べる[Berean Christian Ministries in (<http://www.bcmmin.org>)アメリカ本拠]
「『奉献の律法』がアメリカでしかどのように行われているか話すことしかできない。おそらく、オーストラリアでも違いはないと思うが、確実ではない。モルモン教徒は、総収入(税金で引かれる前の収入)の10%以上支払うよう要求される。おそらく什分の一献金のみかワード(モルモン教会の会衆)の予算のためにも献金が期待される。総献金は12-13%であろう。また、その都度来る教会の召命や事業にも時間を捧げることが期待されるであろう。言い換えれば、あなたのお金ばかりか、あなたの時間や技術も与えなければならないのだ。それに、神殿活動を定期的なものにするよう期待される。あなたは監督に、何を期待するかとたずねるべきだ。ある監督は、1年に2階の神殿活動でよいとする。教会の召命以外にも「ホーム・ティーチャー」になることも期待されるだろう。2件から6件の家族の割り当てがあなたにあり、それぞれの教会メンバーの自宅へ出向き、メッセージを伝えることが期待される。時折こういったメッセージは、モルモン教会の月刊誌‘The Ensign’のほぼ正面に見られる。これがアメリカで行われていることだ」
- 16 外の暗闇はサタンや悪魔や滅びの子が住んでいる場所(『教義と聖約』 D & C 76:31-48 (参照)。モルモン教理 外の暗闇は聖書の地獄とはちがう。(“The Truth about Hell” — MOM ウェブサイト参照)。
- 17 MOM ウェブサイトの [Should we pray about the truthfulness of the Book of Mormon?](#) 並びに [Where does "burning in the bosom" come from?](#) 参照